



栃木校の向かいにある住宅のクリスマスイルミネーション。実習生の皆さんの注目の的となっています

あじけん通信

2013 DECEMBER
VOL.72

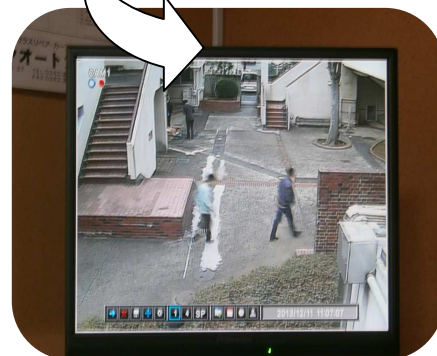
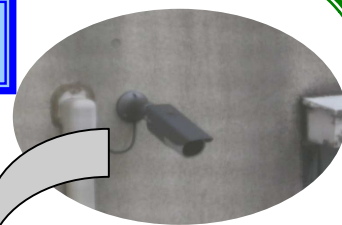
株式会社ティビィシー国際外語学院
企画・編集 遊谷 健司

師走に入りあじけんでも、慌ただしい日々が続いています。現在、本校では、中国・ベトナム・インドネシア・フィリピン・タイ・ネパールの6カ国からの実習生の皆さんが、寝起きを共にしています。本校日本人講師を入れると、文化・習慣が異なるアジアの実に7ヶ国もの人々が、あじけんで日本語学習に励んでいることとなります。近頃は、アジア諸国間の政治的な軋轢が、新聞紙上を賑やかせていますが、あじけんでは、実習生間の生活上のトラブルは、全くと言っていいほど起こりません。きっと、政治的な立場は違えど、「日本で技能実習を受け、帰国後は、母国の経済発展に貢献し、自分達の暮らしを少しでも良くしていきたい」という同じ希望を持って集っている仲間同士という意識があるからなのでしょう。

今年も残すところ後わずかとなりましたが、そんな実習生の皆さんが、楽しく・元気に日本語学習に励めるよう、スタッフ一同、精一杯サポートしていきたいと思えます。

あじけんスコープ Vol.17 実習生の実態～門限編～

今回のあじけんで生活する実習生たちの困った問題は、「門限破り」です。あじけんでは、実習生の皆さんの安全確保の観点から、寮の門限を平日PM20:00(土曜・日曜は18:00)までとしています。ところが門限を守らない実習生が少なくありません。その主な理由は「スーパーの見切り品セール」。寮周辺のスーパーでお惣菜等が半額になる時間帯を狙って、買い物に出かける実習生がいるのです。自分達の生活の為の情報収集能力・行動力には頭が下がりますが、文化・習慣、交通ルールも異なる日本での暮らしにまだ慣れていない実習生の皆さんの、深夜の外出や外泊は、様々な危険と隣り合わせの行動と言えます。最近では、公園や一般住宅の庭先などで、セキュリティーの甘い個人のWi-Fi電波を不法に利用する為深夜外出しようとする実習生もいます。このWi-Fiの不法利用に関しては、他人の敷地内への不法侵入等の法律に触れる恐れもあり、実習生が犯罪者として逮捕されてしまう可能性があります。そのため、この門限破りに対しても、違反があった場合は、厳重注意の上、二度としないように誓約書を書いてもらい、場合によっては、受入れ団体の方に連絡させてもらうといった厳しい姿勢で臨んでいます。ご理解ご協力よろしくお願ひします。



夜でもバッチリ。赤外線カメラで夜間の出入りを監視しています。

今月の実習生



今月の実習生は、中国人実習生、王超さんと李暢さんです。2人は、あじけん近くのお肉屋さんの揚げたてのお惣菜を食べて以来、すっかりはまってしまい、ほぼ毎日お昼ごはんのおかずは揚げ物だそうです。でも、王さん・李さん、食べすぎには、注意して下さいね。

日本に来てから色々なものを食べました。一番美味しいのは「揚げ物」と思います。私のお勧めはイカフライとハムカツです。柔らかいイカやハムを油で揚げて、美味しいソースを掛けて口に入れて、油が出る瞬間「うん、うまい、幸せだな!」と言う感想が出ます。(王超)

ある日、先生からセンターの近くに揚げ物が美味しいお肉屋さんがあると聞きました。その店のコロッケが美味しかったです。一度食べましたら止まらない。特製ソースを掛けた匂いも大好きです。(李暢)

お知らせ

校名が変わります！

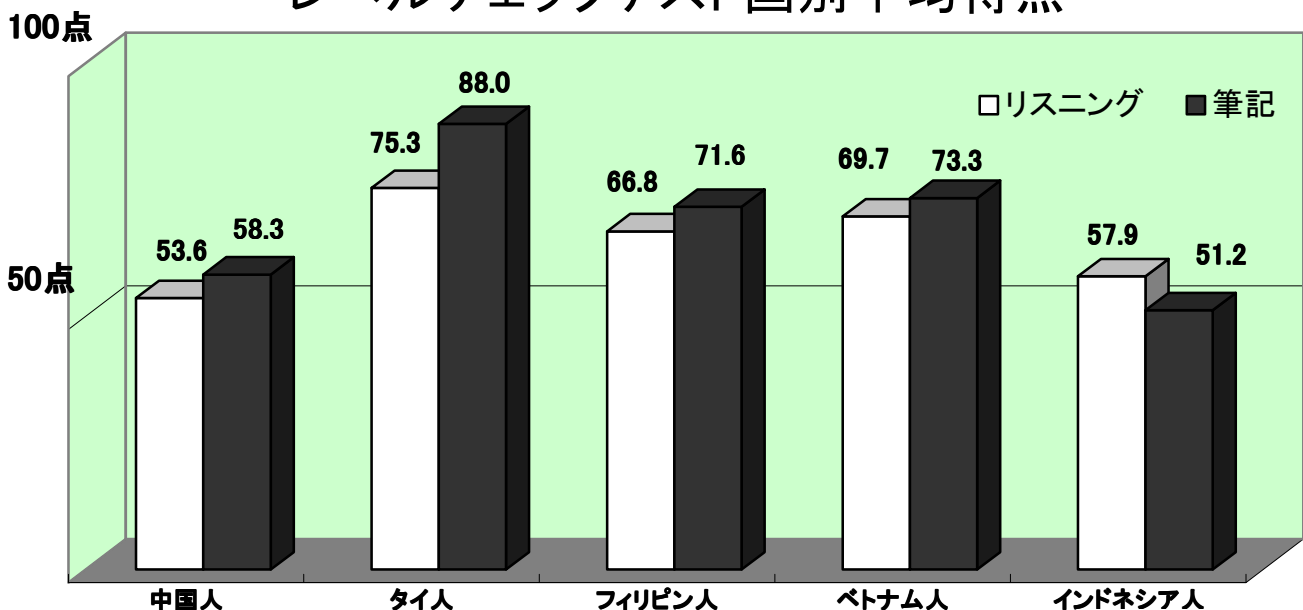
本校では、来年1月からより一層の日本語教育の充実を目指し、「ティビィシィ国際外語学院」という校名（社名）を「きぼう国際外語学院」と変更させて頂くことになりました。この「きぼう」という校名には、私どもの学校を、アジアの国々から母国の経済発展や、家族の幸せといった「きぼう」を胸に来日して来る技能実習生の皆さんが集う「希望の園」にしたいという願いと、そんな実習生の皆さんの「きぼう」の実現を、微力ながらサポートしていきたいという本校日本語講師・スタッフ一同の熱い思いが込められています。

新校名「きぼう国際外語学院」の下、心機一転、これまで以上に、「技能実習生の皆さんが、安全かつ円滑に技能実習が行なえるための実践的な日本語コミュニケーション能力の育成」を目指し、尽力していきたいと考えております。今後とも本校の教育活動に対するご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

あじけん流日本語授業

今回は昨年1年間のレベルチェックテスト（原則として講習初日に実施：来日時の日本語習得状況をチェックするためのテスト）の平均得点の集計をご報告します。事前学習（基礎力）の定着は、本校での100時間という極めて限られた講習期間内で、技能実習を円滑に行なうために必要な実践的なコミュニケーション能力を身に付けるためには、必要不可欠なものなのです。実習生全体の平均得点は、リスニングテストが59点・筆記テストが62点と、前回集計したデータ（2011年の平均得点：リスニングテスト51.3点・筆記テスト52.5点）と比較すると、リスニングテストで7.7点・筆記テストで9.5点と平均得点が大幅にアップしており、これは非常に良い傾向と言えます。なお、実習生の出身国別の平均得点もご紹介いたしますので、参考にいただければ幸いです。

レベルチェックテスト国別平均得点



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。

